

令和5年6月20日(火)

誰かが道を踏み外しそうになったら皆で止めよう

「鬼滅の刃」201話では、主人公炭治郎が鬼になってしまいます。富岡義勇（とみおかぎゆう）が、鬼となった炭治郎を斬ろうとした際、炭治郎との約束の言葉が思い出されました。それは、

「俺たちは仲間だからさ。兄弟みたいなものだからさ。誰かが道を踏み外しそうになったら皆で止めような。どんなに苦しくてもつらくても正しい道を歩こう」というものでした。

大切な友だちが間違ったことをしているとき、道を踏み外そうになったときなどは、全力でそれを止める勇気が必要です。

しかし、誰かの意志を変えたり、誰かの行動を止めたりするのは、その人との関係が近いほど難しいものです。なぜなら、相手への思いが強すぎると、冷静な判断や対処ができないからです。

炭治郎は、それが分かっていたからこそ、何かが起こる前に大切な仲間と約束をしたのだと思います。

現代社会は人間関係が薄いと言われていています。しかし、皆さんの周りには大切な友人がたくさんおり、皆仲間なのです。もし、仲間の誰かが道を踏み外しそうになったり、悪いことをしようとしたら、みんなで止めましょう。どんなに苦しくてもつらくても、正しい道を歩むことで、仲間や自分を救いましょう。